

How to Prepare a Camera-Ready Paper for Picture Coding Symposium of Japan and Image Media Processing Symposium

[‡]English Affiliation 2

予稿集は白黒・網がけ印刷になります。見にくくならないよう、作成の際にはご注意ください。

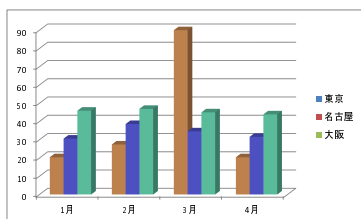


図 1: 符号化実験結果

図表の出力位置を指定するオプションは、[h] は使わず [t]、[b]などを指定してページの天か地に置くことを基本にします。

図表内は英文でも和文でも結構です。参照は図 1、表 1 のようにしてください。

6 PDF ファイル化

PDF 作成時はすべてのフォントを埋め込むように設定して下さい。Acrobat や Web 上のフリーのツール等で構いませんので、必ずフォント埋め込みを確認して下さい。

変換コマンド例は以下の通りです:

```
$ platex foo.tex
$ dvipdfmx -p a4 foo.dvi
または
$ simpdfTeX platex --mode dvipdfmx --dvipdfmopts \
  "-p a4" foo.tex
```

7 その他 L^AT_EX 2_ε 特有の事項

お好みで newtx[2] や jsclasses[3] を用い、より美しい組版をしていただいても構いません。

原則として半角に存在する文字については全角を使わないようにします (e.g., “(ABC 1 2 3)” は “(ABC123)” のように)。

半角と全角の間にスペースを入れる (e.g., 10_種類) 必要はありません (自動的に四分アキが入ります (10 種類))。

pL^AT_EX 2_ε コンパイル時のフォントに関する Warning を抑制するには jtygm スタイルファイル [4] をご参考にされてください。

参考文献等での URL の表記には、url スタイルファイルを使い `\url{http://...}` とされると便利です。また、同 URL にハイパーリンクを付与するには hyperref を利用します [5]。

その他、L^AT_EX のコマンド・パッケージの使用方法について、[6] の情報が参考になります。

8 おわりに

平成 19 年 3 月 2 日 初版

平成 19 年 3 月 8 日 更新

平成 26 年 5 月 23 日 更新

平成 27 年 7 月 15 日 更新

参考文献

- [1] X. Wu *et al.*: “Context-based, adaptive, lossless image codec,” IEEE Trans. Commun., vol. 45, pp. 437–444, Apr. 1997
- [2] M. Sharpe: “newtx – Alternative uses of the TX fonts, with improved metrics”, <http://www.ctan.org/pkg/newtx>
- [3] 奥村晴彦: “pL^AT_EX 2_ε 新ドキュメントクラス”, <http://oku.edu.mie-u.ac.jp/~okumura/jsclasses/>
- [4] 堀田耕作: “jtygm スタイルファイル”, <http://www.khotta.org/ghost/psfont.html>
- [5] 水谷正大: “ハイパーリンク付き L^AT_EX 文書”, http://www.isc.meiji.ac.jp/~mizutani/tex/link_slide/hyperlink.html
- [6] 丸田一郎: “使ってはいけない L^AT_EX のコマンド・パッケージ・作法”, <http://ichiro-maruta.blogspot.jp/2013/03/latex.html>